

岡山県立玉野光南高等学校 保健体育科 指導と評価の計画

科目：保健 第2学年「3.生涯を通じる健康（イ）労働と健康」

授業者：亀田善昭

日時：10月21日（木）6限

対象：2年1組33名（男30名・女3名）

場所：2年1組HR

単元 の 目 標	(1)	労働と健康における、自他や社会の課題について理解を深めることができるようにする。【知識】		
	(2)	労働と健康に関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくり等と解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、筋道を立てて他者に伝え合うことができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】		
	(3)	労働と健康に関する事象に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとすることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】		
単元 の 評 価 規 準	知・技	① 労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解したことを発言したり記述したりしている。 ② 労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを発言したり記述したりしている。 ③ 働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを発言したり記述したりしている。 ④ 働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて、理解したことを発言したり記述したりしている。		
	思・判・表	① 労働と健康における事象や情報を、健康に関わる原則や概念を基に整理し、個人や社会生活と関連付けて考え、自他や社会の課題を発見している。 ② 労働と健康における課題の解決方法を疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくり等と関連付けて導き出し、筋道を立てて説明している。		
	態度	① 労働災害と健康、働く人の健康の保持増進についての学習に主体的に取り組もうとしている		
時	学習内容・活動（全4時間）	評価		
		知・技	思・判・表	態度
1 本時	1. 仕事について個人で考え、グループで共有し、考えを深める。 2. 労働の形について話し合い、働き方や職種、労働問題や健康問題の変化を導き出す。 3. 導き出した内容を教科書や資料のデータと照らし合わせ、労働問題と健康問題を関連付けて考える。	①	①	
2	1. グループで労働災害の要因や背景について話し合い、労働災害防止に必要な条件や環境を考える。 2. 職場に掲示することを目的とした労働災害予防のための「ステッカー」を作成する。	②		
3	1. 作成したステッカーのポイント等を発表し、相互評価する。 2. グループで、職場・労働者それぞれの立場で、健康的な働き方やよりよい労働環境について話し合う。	③	②	
4	1. グループで、職場・労働者それぞれの立場で、それぞれにとってメリットのある新たな取り組みを考える。 2. 職場と労働者双方にとってメリットのある取り組みを考える。	④		①

本時案 (1/4 時間)

岡山県立玉野光南高等学校 普通科 2年1組 33名 (男子30名・女子3名) 令和3年10月21日(木)第6校時 場所:2年1組HR教室 指導者:亀田善昭		
目 標	○ 労働災害の質や量は、作業形態や作業環境の変化に伴って変わってきたことを理解できるようにする。(知識) ◎ 過去の労働と健康に関する事象を知り、現代の労働と健康にまつわる問題点や課題を発見する。(思考力、判断力、表現力等)	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法など
-はじめ- (10分) 1 確認 (1) 挨拶、出欠・準備物 (2) 本時の目標, 流れ		
○ 欠席者や準備物の確認をする。 ○ 本時の目標と学習の流れについて説明する。		
本時のねらい: 現代の労働と健康に関する課題を導き出す。		
2 グループで将来なりたい職業ランキングから考察  -なか- (30分) 3 グループで仕事について考察 (1) 働く目的・意味 (2) 理想の職場・条件  4 グループで過去50年の主な労働災害から考察 (1) 仕事の変化 (2) 働き方の変化 (3) 労働問題や健康問題  -まとめ- (5分) 5 次時の内容確認, 挨拶	○ 過去10年分の資料を提示し、ランクインした職業が選ばれた理由や特徴を考えさせる。 ※ 過去10年の出来事や流行、影響力があったと思われるものなどを例示する。 ○ グループの意見をまとめさせ、2~3グループに発表させる。  ○ 考察・発表させた後、世論調査結果などを提示し、違う世代の意見も認識させる。 ○ 働きやすい理想の環境を考え発表させる。 ※ 家族の仕事から考えさせる。  ○ 1970年代から現在までに起きた労働災害を提示し、仕事や働き方の変化を考えさせ、フォーム入力させる。 ○ グループごとに、過去の労働問題と健康問題から現代の労働や社会に対する課題を発見させたり、これから起こるかもしれない労働に関わる問題を考えさせたりする。  <b>【次時の内容】</b> ・ グループで考えた労働に関する問題の要因や背景について話し合い、労働災害防止に必要な条件や環境を考える。 ・ 考えた労働災害防止策をもとに、職場に掲載労働災害防止のステッカーを作成する。 ・ 作成に必要なものを準備してくる。	○ 過去の事象から労働や健康問題の変化を理解している(知識) <入力データ> ◎ 課題を発見したりこれから起こりうる労働問題を考えたりしている(思考力、判断力、表現力等) <観察>
準備物	教科書・ノート(大修館書店)、パソコン、HDMIケーブル、授業スライド、資料プリント、入力フォーム(Google Forms)、スマートフォン(各自)、ChromeBook(10台)	